

多部制・単位制高校について

いつでも、だれでも、自分のペースで希望する時間帯を選択して学べる学校

1 定時制課程の多部制とは

定時制課程は1日のうち特定の時間を学ぶ時間に当てるシステムです。その中で特に多部制とは学ぶ時間帯を1日の中で複数に分けて設定するシステムです。

定時制(多部制)は学ぶ時間帯によって次のように考えることができます。

1 部	夜間部（または昼間部）
2 部	昼間部、夜間部
3 部	午前部、午後部、夜間部

自分が主として学ぶ時間帯を選び在籍する部を決めますが、自分の在籍する部以外の部の授業も選択して受けることが可能です。卒業までに必要な年数も3年以上ということですので、自分のライフスタイルにあった形で卒業までの期間を考えることができます。

2 単位制について

学年制は、各高校が教育課程を学年ごとに定め、その年度の課程を修了すると次の学年に進級し、所定の課程を修了することにより卒業していくシステムです。学年制では履修や修得ができない科目があると、場合によっては原級留置となってやり直しが必要になることもあります。

単位制においては、学校で開設する全ての科目のなかから必修の科目を含みながら、各自がその年度に学ぶ科目をかなり自由に選択できるシステムです。（一部学ぶ順番が決められている場合もあります）ですから単位制の場合は一人一人の時間割がみな異なったものになります。

また、一度修得が認められた科目は、再び履修する必要がありません。また各人の事情で、履修した科目が修得できなかった場合も、必要であればその科目のみを次年度以降履修すればいいことになります。

3 多部制・単位制の日課表の例

	午前部	午後部	夜間部
1	8:35—9:20	13:15—14:00	17:25—18:10
2	9:30—10:15	14:10—14:55	18:35—19:20
3	10:30—11:15	15:05—15:50	19:25—20:10
4	11:25—12:10	16:00—16:45	20:15—21:00

4 多部制・単位制のメリットとなりうること

1 年を 2 学期制とすることで、前期、後期で 1 つの科目も分割履修や修得も可能になります。また、入学や卒業の時期も年 1 回から年 2 回に増やすことが可能になります。

転入学や編入学について弾力的な運用が可能になります。

通信制課程との併習や、高等学校卒業程度認定試験受験なども活用しながら卒業を目指すことができます。

過去に在学した高校における修得単位数を、単位制高校での単位数に加えることが可能です。

定時制課程であるため授業料は安く設定されています。(全日制課程年額 115,200 円、定時制課程年額 31,200 円)また、定時制課程で学ぶ生徒のための様々な支援を受けることが可能です。

学習不適応状態を経験した人も無理のない計画を立てて学んでいくことが可能です。

5 多部制・単位制で学ぶ生徒の例

中学校時代不登校の経験のある A さん

不登校の経験から全日制で 1 日学ぶことにはちょっと不安がある。多部制・単位制の高校の午後部を選択して、午後だけ学校生活を過ごすことで徐々に生活のリズムを変えていきたい。学校生活に慣れたら、午前部の授業も受けたり、通信制課程の併修も行ったりして 3 年間での卒業を目指したい。

以前全日制課程の高校で 1 年次を終了した経歴のある B さん

以前在籍した高校で修得した単位は認められるので、卒業に必要な単位数から早ければ 2 年でも卒業が可能。午前部へ入学しながら午後部の授業も選択して 2 年間での卒業をめざす。

働きながら高校生活を送りたい C さん

勤務の都合で、夜間部へ入学し、4 年間かけて卒業をめざす。ただ、仕事の都合で 1 時間目の授業を受けられないことが多いため、その科目を修得できなかった場合は高等学校卒業程度認定試験の受験も考えたい。